

平成24年7月28日(土)実施

事業番号	事業名	事業費 (千円)	所管部局	判定結果	判定結果に対する市の考え方
1-2-1	子ども医療助成費	601,109	子ども未来部	実施内容や 手法の改善	今後も制度の維持に努めていくとともに、制度の目的、利用について市民への周知を図ってまいりたい。また、制度の運営、事務諸経費は、必要最小限となるよう効率的な運営に努めてまいりたい。
1-2-2	ひとり親家庭等医療助成費	157,076		実施内容や 手法の改善	今後も制度の維持に努めていくとともに、引き続き適正な運用を図ってまいりたい。制度の拡充については、財政上の問題があるので市民要望を踏まえながら慎重に検討していきたい。
1-2-3	母子寡婦福祉資金貸付金	148,403		実施内容や 手法の改善	貸付申請時において、借主・連帯借主および連帯保証人に対して本事業の趣旨を十分認識させるとともに、償還開始前においても、口座振替での納付を促し、現況調査票を提出させるなど、借主が計画どおり返済できるように努める。また、滞納者に対しても、引き続き関係部局と連携しながら、連帯保証人への早期督促、支払督促手続き等の対策強化を図り償還率の向上に努める。
1-2-4	生活館管理委託料	5,647		見直しが必要 (廃止・民営化を含む)	指定管理者である社会福祉協議会と連携し、児童のための各種事業の充実を図るとともに、今後、児童館としての活用を含め、施設のあり方を検討してまいりたい。
1-2-5	グリーンプラザ管理委託料	8,300	経済部	見直しが必要 (廃止・民営化を含む)	市民等が安心・安全に施設を利用できるように維持・管理を徹底していくことはもとより、指定管理業務である集客効果の高いイベント開催の増加を図るとともに、自主事業の実施についても取り組むよう指示してまいりたい。コストについては、市が直営で管理していた平成17年度と比較すると、経費は縮減されているところではあるが、今後もさらなる経費縮減に努めていくこととしたい。 また、現在、「中心市街地活性化基本計画」を策定中であり、今後の施設の活用策について、検討を進める。